

オンライン健康セミナーを開催!!



みどり病院
 講師：今西薬劑部長



芥見みどりの家
 芥見地域の会員さん

新型コロナウイルスの影響が続く中、いかがお過ごしでしょうか。40年にわたり、みどり病院と岐阜健康友の会が共同で開催してきた「みどり健康まつり」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大状況をふまえ、地域の皆様および職員の健康や安全を最優先に考慮し、今年度の開催を中止いたしました。

舞台や飲食・バザーなどを楽しみながら健康について考えることはできませんでしたが、代わりに初めての試みとして、オンラインでの健康セミナーを9月28日(月)～10月2日(金)の期間で開催しました。

岐阜健康友の会会員さんの活動拠点である「さくらの丘(各務原)」「みどりの家(芥見)」「梅子の家(長良)」「ほっとはうす(藍川)」「しいのみハウス(北山)」とみどり病院とを、インターネットを使ったビデオ通話で繋ぎ、病院の中から職員による健康講座を発信しました。健康講座の後には、それぞれの拠点でご参加いただいた方々からの質問に職員が答える、といった双方のやりとりもおこなうことができました。画像や音声がちんと繋がるのか、途中で途切れたりしないかなど、心配な点もありましたが、おおむねうまくできましたように思います。

地域の方々とオンラインで繋がることが可能になることで、たとえば東濃地域や飛騨地域の会員さん、他県の会員さん、海外の会員さん(何名みえるのかな?)とも、その場にいながら健康に関する情報を交流することができるようになっています。

当日はオンラインでの健康講座に続いて、「君井理事長、松井院長からの病院リニューアルにむけてのビデオメッセージ」を視聴し、「理学療法士によるフレイル予防体操動画」に合わせて10分ほど体操を楽しみました。

みどり病院では、2024年春の竣工を目指して新病院建設プロジェクトを開始したところです。地域の皆様からのご意見ご要望も取り入れながら、進めています。引き続き、ご支援ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

みどり病院のホームページにオンライン健康セミナーの特設ページを用意してあります。

セミナー期間中に配信した健康講座だけでなく、日野医師による『子育て健康相談』、森医師による『たずねてガッテン』などの動画も閲覧できます。ぜひ一度ご覧ください。

(みどり病院事務局長)

良かった!! 楽しかった! 初めてのオンライン健康班会

9月29日午後2時、藍川支部の「ほっとはうす」のホワイトボードに西尾先生の顔(マスクをつけています)が写しだされ、さわやかな声が流れました。オンライン健康セミナー2日目の始まりです。担当者2人を含め、18人の参加者は(始まるまでは何人の参加があるか不安でした)。吸い込まれるように見つめ、耳を傾けました。先生のテーマは「ピロリ菌と胃癌」です。ピロリ菌の由来、歴史、生態から始まり、ピロリ菌の感染率、胃癌や食生活との関連、ピロリ菌の検査の方法、除菌の仕方まで、丁寧な解説を聴くことができました。先生の話が終わると、待っていたかのように、何人もの質問の手が上がり、予定の時間を超過しました。(この日は、長良支部の「梅子の家」との同時配信で、画面に質問の手があがる様子も見ることができました。)

西尾先生の健康講座のあとは、みどり病院のリニューアルについてのメッセージとフレイル予防体操の動画を見て、全員で体を動かしました。

終了後、参加者のうち12人から感想が寄せられました。「声がかや聴きづらい」「もう少しお互いの声はつきり聞こえればよかった」という感想もありましたが、「先生との会話ができてよかった」「リモートは初めてで勉強になった。ピロリ菌の検査をしてみたいと思ってる。」「胃カメラは勇気がいるが、やってみたい。」「こういうチャンスがあると、普段意識していない健康面なども自己啓発できたと思います。」など、おおむね好評で、参加者は自分の健康へより注意することの大切さを感じるようです。また、「これからもこういう講演を行ってほしい」と思っています。

たいと思います。」「また、聴く機会があったらお願いします。」など、今後への期待や、「ピロリ菌検査の尿素呼吸試験や糞便中抗原検査をやってほしい」という講演を傾聴したの要望も書かれています。

初めての体験でしたが、オンライン健康セミナーの可能性を確認することができたと思います。

藍川支部 大塚和子



長良
 梅子の家

みどり病院：
 西尾副院長



藍川
 ほっとはうす

最近ではコロナ禍のこともあり、団体の総会や、学習会や講演会などがオンラインで参加することが多くなっています。週間に連続して五日、オンラインでの作業の過もありません。確かに移動にかかる交通費やそれに要する時間を考えると、より合理的な面があり、これからコロナ後も残り、利用しやすい形で進化するのかもしれないところもあり、対面しなければ伝わらない人間的な価値を大切にしたい▼さて九月四日には、「大分岐の時代と社会運動」というテーマで、大阪市立大学の齋藤幸平氏(経済思想史)の講演をオンラインで視聴しました。氏の基調は明確です。「コロナ禍で明らかになった新自由主義の経済思想を変えなければならぬ。それができなければ、異常気象など地球環境に悪影響を与え、取返しの出来ない事態に発展する、というもの▼その警告は欧州を中心に発展しているグリーンリカバリー、グリーンニューディール(GND)であり、緑の党の躍進ですが、どちらも日本ではまだまだ弱くマスコミの取り上げ方も不十分です▼せっかくなので安倍首相が退陣したのに、その継承だという疑似安倍Ⅱ菅政権の誕生は、この「大分岐」時代に、逆行するものではないように思えます。

健康
 春秋